



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年10月26日

上場会社名 株式会社 帝国ホテル
 コード番号 9708 URL <https://www.imperialhotel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 定保英弥
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 杉山和久
 四半期報告書提出予定日 2018年11月2日 配当支払開始予定日 2018年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3504-1111

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	27,664	4.0	1,991	28.7	2,085	25.0	1,441	28.8
2018年3月期第2四半期	26,609	0.6	1,548	13.8	1,668	12.2	1,119	14.1

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,390百万円 (13.6%) 2018年3月期第2四半期 1,223百万円 (6.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	24.30	
2018年3月期第2四半期	18.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	78,857	57,493	72.9
2018年3月期	79,225	56,577	71.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 57,493百万円 2018年3月期 56,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		7.00		8.00	15.00
2019年3月期		7.00			
2019年3月期(予想)				8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	1.3	4,800	2.2	5,000	0.8	3,500	3.0	59.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	59,400,000 株	2018年3月期	59,400,000 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	75,916 株	2018年3月期	75,916 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	59,324,084 株	2018年3月期2Q	59,324,084 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が継続するとともに、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復を続けてまいりました。

ホテル業界におきましては、訪日外国人客数の増加に伴う宿泊需要や法人利用が堅調に推移するなか西日本などで相次ぐ自然災害による影響がありましたが、概ね良好な経営環境となりました。

このような環境のもと当社グループにおきましては、特にアジアマーケットを中心に海外に向けた営業活動を強力に推進するとともに、各種広報活動を積極的に展開するなど売上げの増進に全力を注いでまいりました。また、『東京ミッドタウン日比谷』の開業にあわせ地域と連動したイベントや『インペリアルバイキング サール』開業 60 周年記念企画等、話題性のある各種催事を開催し集客増とブランド力の向上に邁進してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は前年同期比 4.0%増の 27,664 百万円となり、営業利益は前年同期比 28.7%増の 1,991 百万円、経常利益は前年同期比 25.0%増の 2,085 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比 28.8%増の 1,441 百万円となりました。

セグメントの業績におきましては、ホテル事業の売上高は前年同期比 4.3%増の 25,761 百万円、営業利益は前年同期比 36.0%増の 2,115 百万円となり、不動産賃貸事業の売上高は前年同期比 0.8%減の 1,913 百万円、営業利益は前年同期比 8.9%減の 984 百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて 0.5%減少し 78,857 百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて 0.8%増加し 40,227 百万円となりました。これは有価証券の増加などによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて 1.7%減少し 38,630 百万円となりました。これは有形固定資産の減少などによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて 12.4%減少し 8,626 百万円となりました。これは未払法人税等の減少などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて 0.5%減少し 12,737 百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて 1.6%増加し 57,493 百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、景気は緩やかな回復が継続するものと期待されますが、国際間の貿易摩擦問題などにより先行きへの不透明感が強まることが予想されます。

ホテル業界におきましては、訪日外国人客数のさらなる増加が見込まれますが、既存大型ホテルのリニューアルや客室の供給増による販売競争が一層激化するなど厳しい経営環境が予想されま

す。
このような状況のもと、当社グループといたしましては市場の動向を見据えた積極的な販売施策と的確な価格政策を継続するとともに、より高品質な商品・サービスの提供に努め、特に外国人富裕層のさらなる利用拡大を図るなど売上げの増進に全力を注いでまいります。加えて、今後開催が予定されている G20 首脳会議、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックなどの国際的なイベントに向け、万全の態勢を整えてまいります。

また、中期経営計画の重点課題である「安全性の追求」「帝国ホテルブランドの向上」「顧客満足の追求」「イノベーションへの挑戦」に今後も鋭意取り組み、常に変化する顧客や社会のニーズを的確に捉えた新たな商品・サービス・社会的価値の創造へグループ一丸となって邁進してまいります。

なお、2018 年 5 月 11 日に発表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,530	23,314
売掛金	3,878	3,860
有価証券	4,300	11,902
貯蔵品	602	583
その他	600	571
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	39,907	40,227
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,556	14,016
その他（純額）	5,654	5,635
有形固定資産合計	20,210	19,652
無形固定資産		
投資その他の資産	1,504	1,407
投資有価証券	8,667	8,674
その他	8,935	8,895
投資その他の資産合計	17,603	17,570
固定資産合計	39,318	38,630
資産合計	79,225	78,857
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,310	1,200
未払法人税等	1,092	657
未払費用	2,628	2,312
前受金	949	1,202
賞与引当金	1,196	1,163
建物解体費用引当金	287	256
その他	2,379	1,833
流動負債合計	9,845	8,626
固定負債		
退職給付に係る負債	7,134	7,128
資産除去債務	995	1,000
長期預り金	4,456	4,488
その他	216	120
固定負債合計	12,802	12,737
負債合計	22,648	21,364

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,485	1,485
資本剰余金	1,378	1,378
利益剰余金	53,410	54,376
自己株式	△89	△89
株主資本合計	56,183	57,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,113	997
退職給付に係る調整累計額	△719	△655
その他の包括利益累計額合計	393	342
純資産合計	56,577	57,493
負債純資産合計	79,225	78,857

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	26,609	27,664
材料費	5,464	5,726
販売費及び一般管理費	19,597	19,946
営業利益	1,548	1,991
営業外収益		
受取利息	17	18
受取配当金	15	19
持分法による投資利益	21	10
その他	65	44
営業外収益合計	120	93
経常利益	1,668	2,085
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1
特別利益合計	-	1
税金等調整前四半期純利益	1,668	2,087
法人税、住民税及び事業税	532	579
法人税等調整額	15	66
法人税等合計	548	645
四半期純利益	1,119	1,441
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,119	1,441

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	1,119	1,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	△115
退職給付に係る調整額	70	64
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△0
その他の包括利益合計	104	△51
四半期包括利益	1,223	1,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,223	1,390

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,668	2,087
減価償却費	1,402	1,337
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18	△33
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4	△5
受取利息及び受取配当金	△33	△38
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△1
持分法による投資損益 (△は益)	△21	△10
売上債権の増減額 (△は増加)	170	18
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△19	19
仕入債務の増減額 (△は減少)	△140	△109
未払費用の増減額 (△は減少)	402	△316
長期預り金の増減額 (△は減少)	△81	32
差入保証金の増減額 (△は増加)	0	△0
建物解体費用引当金の増減額 (△は減少)	-	△31
その他	248	188
小計	3,582	3,135
利息及び配当金の受取額	70	77
法人税等の支払額	△194	△999
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,457	2,214
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000	-
有形固定資産の取得による支出	△1,915	△1,122
投資有価証券の取得による支出	△800	△605
投資有価証券の売却による収入	-	2
投資有価証券の償還による収入	300	400
その他	△40	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,455	△1,355
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△474	△474
財務活動によるキャッシュ・フロー	△474	△474
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△472	384
現金及び現金同等物の期首残高	26,283	28,429
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,811	28,814

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

『「税効果会計に係る会計基準」の一部改正』（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,690	1,918	26,609	—	26,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10	10	△10	—
計	24,690	1,928	26,619	△10	26,609
セグメント利益	1,554	1,080	2,635	△1,087	1,548

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,761	1,903	27,664	—	27,664
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10	10	△10	—
計	25,761	1,913	27,674	△10	27,664
セグメント利益	2,115	984	3,099	△1,107	1,991

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。